Кресту Твоему поклоняемся, Владыко, и святое воскресение Твое славим

小田原 平塚・修善寺・柏久保正教会だより

2023年7月1日発行　第250号

КРЕСТЪ
クレスト

2023年7月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX: 0465-22-2792 携帯: 070-5079-3408

E-mail: holyspiritodawara@gmail.com

教団 HP: http://www.orthodoxjapan.jp/

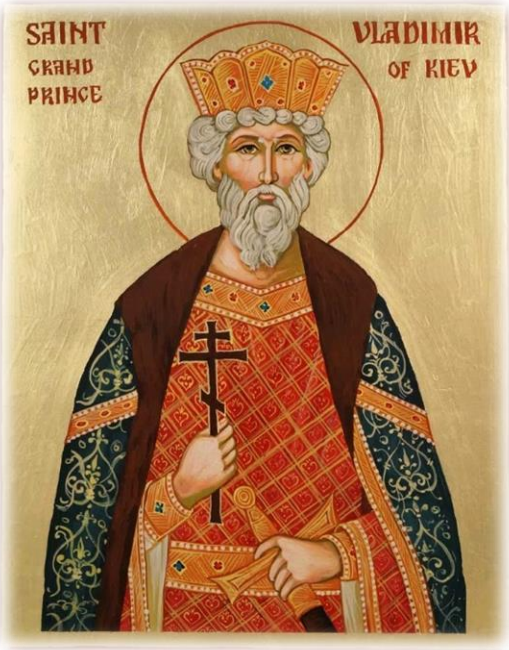
小田原正教会 HP: http://odawara-orthodox.com/

郵便振替口座(小田原): 00270-6-15226

ウラディミルよ、爾の大いなる都邑も楽しみて、よろこばしく輝く、黒雲を以てするにあらずして、神に於いて子が父と偕に己の中に讃栄せらるるを見るに因る。彼に我等の 霊 を救いて照らさん事を祈り給え。

大候ウラディミル祭

晩課のステイヒラより



キエフの大候 亜使徒聖ウラディミルのイコン

西暦 955 年、キエフ大公スヴィヤトスラフ一世のもとに生まれたウラディミルは、３７歳のときキエフ大公に即位した。ビザンチン帝国の首都コンスタンチノープル（現在のイスタンブール）を訪問したウラディミルはアヤ ソフィヤ大聖堂を見て感銘を受けた。これが一つのきっかけとなり、988 年ウラディミルは洗礼を受け、同年にビザンチン帝国から正教を導入し、キエフ大公国の国教とした。1015 年、永眠。記憶日は７月２８日（新暦７月１５日。）

●五旬祭後第４主日聖体礼儀（第３調）・月例パニヒダ・執事会

7 月 2 日（日）10:00～　(9:30 痛悔)

使徒経:ローマ 6:18-23　福音経:マトフェイ 8:5-13

●五旬祭後第６主日聖体礼儀（第５調）・信徒総会

7 月 16 日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)

使徒経:ローマ 12:6-14　福音経:マトフェイ 9:1-8

小田原：信徒総会公示が P5 にあります。
欠席の方は委任状をご提出ください。

*The 8th and 9th of July 2023, all local parishes will **not** have Divine Liturgy because of the annual assembly of Orthodox Church in Japan summoned at Holy Resurrection Cathedral in Tokyo*

Welcome to the Orthodox Church　by Frederica Matthews-Green

正教会にようこそ 31

…ダマスカスの聖イオアンも書き記しています。「しかし今日、神は人体を籍り、衣をまとって人と共にいる。我々の目の前に現れた神の姿を描くのである。我々は描かれた絵を崇拝するのではない。そこに描かれた崇められるべき者、救いを与えるものに思いを寄せ、崇拝するのだ。私を救いに導く道具となる物への敬拝を私は決して止めない。」

聖イオアンはこうも言いました。「神はモーセ(モイセイ)に契約の箱を作らせるにあたり細かい指示を出した。上質な木材を使用すること、箱の外側も内側も金箔を張り巡らすこと、それは見る人の心を動かして神を拝する気持ちにさせるためである。五感の中で最も人が依存するのが視覚であると言われているように、それを見るだけで神の尊厳、そして時代を超えて成した聖なる業を人々に認識させようとするのだ」と。彼は次のようにも書物に書きました。「思考がまるで茨の冠のように私の頭を締め付ける状態のときに聖堂に足を踏み入れて、その美しい聖堂内部の様を見ていると、いつのまにか頭を縛る思考から解放される。まるで蒼い牧草地の真ん中に来て神の栄光を知らしめられたような喜びの気持ちだ。」また、文盲の人々にとって絵は必須です。「本は識字できる人のためにあるが、絵は文盲の人々にとって文字と同様の役割を果たすのだ。」

西暦 787 年、女帝イレーネ(イリナ)は、聖像についての問題に結論を出すため、第 7 回目の全地公会議を召集しました。その時、会議はキリストと聖人はモザイクも含め聖像として描くことができる存在だとしてイコンの正統性を宣言しました。イコンにはそこに描かれている人を敬愛するきっかけとなる働きがあるため、教会や各家庭、どこであっても掲げるべきであるとしたのです。そして第七回全地公会議での決定事項として次のように記録しました。

・ハリストスは全き人としてこの世に存在した全き神である。彼を描くという行為は、言葉が肉体を籍ったという教義を信じる行為である。見えない神を人の想像で描く偶像とは異なる。見えない神が目に見える人となったのだから、その姿を画いても、それは偶像には該当しない。

・イコンに対する敬拝または尊敬は、画かれた原像に対して行うものである。イコン自体を崇拝しない。神のみが崇拝されるべき対象である。

ここで押さえておく点があります。ギリシャ語の英語への翻訳には限界があるということです。全地公会議における決定事項で、イコンは「拝する(προσκύνησις)の対象であり、「崇める、(λατρεία)」の対象ではないと明記しているのです。

プロスキニシスというのは平たく言うと、お辞儀をするとか敬礼をするという意味です。もちろん神に対して行う行為ではありますが、王様にも、社長や、先生に対しても行います。つまりは「プロスキニシス」は敬意を表する所作を意味しています。それに対して「ラトリア」は(日本語は英語より意味を捉えやすいかもしれません。文字通り)拝み崇める、という意味です。これは、本質的には、神のみを対象とした動詞です。キリストが 40 日の試練を受けたとき、サタンに対してこう言いました。イエスは彼に言われた、「サタンよ、退け。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある。」(マタイ/マトフェイ 4:10)

実は、この第七回全地公会議で聖像破壊運動に決着がついたわけではありませんでした。このように教義として定めたにも関わらず、聖像破壊運動は再燃したのです。そこでテオドラという皇后が、イコンの正統性を宣言するために、公会議ではありませんが、主教の会議を召集しました。会議は西暦 843 年の復活祭前の大斎第一日曜日に開催されました。皇后テオドラをはじめとする全王族、街中の聖職者と修道士たちが一人ひとりイコンを手に持ち、街を練り歩いたのです。この凱旋を正教勝利と呼び、大斎第一週日曜日を「正教勝利の主日」と定めて、現在も世界各地の正教会はこの日、それぞれの信徒がイコンを持って行進しています。非難された第七回全地公会議での決議を引用して宣言された言葉は次の通りです。

預言者が予見したように、

聖使徒が教示したように、

教会が賜ったように、

教父が定めたように、

世界が受け認めたように

恩寵が照らされたように、

真実は明らかにしたように、

虚偽が棄却されたように、

叡智が明らかにされたように、

ハリストスが指し示したように、

我々はハリストスを真の神と宣言し、

彼による聖人を讃えよう。

語られた言葉をもって、

記された言葉をもって、

思考をもって、

務めをもって、

聖なる宮をもって

聖なるイコンをもって

主であり神であるハリストスを崇め讃め、

彼の使徒を我等の神の真の僕と尊み敬おう。

これが聖なる使徒の信仰である。

これが聖なる教父の信仰である。

タイトルの連載番号が3月号から6月号まで誤っていました。お詫び申し上げます。

最近の出来事・消息

小田原・平塚 **堂祭　聖神降臨祭**　6 月 4 日(日) 10 時より、小田原教会の聖堂の堂祭である聖神降臨祭聖体礼儀が行われました。聖堂は緑の布や明るい色の花が飾られました。聖体礼儀では五旬祭後の祈祷サイクル中の聖体礼儀ほとんど毎回で歌って慣れている聖神降臨祭のトロパリを参祷者は大きな声で歌っていました。聖体礼儀に続いて、ひざまずいて祈る晩課が行われました。その後昼食をはさんで婦人会年次報告を行いました。少人数であっても婦人会として何ができるかを話し合いました。

柏久保・修善寺 司祭の伊豆巡回がない6月は、10 日(土)10より、柏久保教会にて代式祈祷が行われました。5名が集まりました。代式祈祷後昼食をはさんで、聖歌練習を行いました。翌日 11 日(日)、10 時より修善寺教会で代式祈祷を行いました。この日の昼食には、マクリナ野田典子姉が特製カレーライスを差し入れてくださいました。感謝！

横　浜　今年度の横浜教会の墓地祈祷が6月 2 日にすべて終了しました。各墓地で皆様になりました。翌日6月2日(土)からガブリイル田中神父様により聖神降臨祭が行われました。復活祭期(復活祭から升天祭までの間)使用した白色のランパーダを有志によって通常の赤に替え、聖神降臨祭の準備をしました。翌週11日にも聖体礼儀を行うことができました。皆様のご協力により教会活動が守られていますことを神に感謝します。

献金報告　6/20 現在　　日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏　　名	摘　要
[redacted]	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]

日付	氏　　名	摘　要
[redacted]	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]
	[redacted]	[redacted]

婦人会献金:

日付	氏　　名	摘　要
[redacted]	[redacted]	

― 感 謝 ―

さっそく皆様より新年度の定額献金を賜り、心から神に感謝いたします。定額献金の寄付者名はこの献金報告に掲載されませんので、献金袋の受領印または領収書をご確認ください。

全国公会

日時：2023 年 7 月 8 日（土）～9 日(日)　東京復活大聖堂・ニコライ会館にて

※柏久保・修善寺・横浜での聖体礼儀・小田原教会での代式祈祷はありません。

2023 年 7 月 1 日

信徒各位

宗教法人　小田原ハリストス 正教会
代表役員　司祭ディミトリイ 田中仁一

小田原ハリストス正教会信徒総会

公　示

至聖三者の御名に由りて、ご平安お祈り申し上げます。

宗教法人小田原ハリストス正教会規則第一七条に基づき、2023 年度小田原ハリストス正教会信徒総会を下記のとおり開催します。

記

日時：2023 年 7 月 16 日（日）聖体礼儀後
場所：小田原ハリストス正教会　信徒会館

聖体礼儀のあと、引き続き聖堂で行います。食事をご用意します。

以上

欠席される方は委任状の提出を必ずお願い致します。
郵送・ＦＡＸ・Ｅメールにて受付。　〆切 7/16 正午。

キリトリ線

委 任 状

宗）小田原ハリストス正教会御中

私は、2023 年 7 月 16 日（日）に行われる「2023 年度信徒総会」を欠席いたします。
ついてはこれに際し、委任状を提出し、決議の一切を議長に委任いたします。

2023 年＿＿＿月　＿＿＿日

聖 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　姓 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

送付先 FAX:　0465-22-2792/email: holyspiritodawara@gmail.com

【2023年7月】小田原/平塚・修善寺/柏久保・横浜教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	主日・調・聖書の読み
1	土	**[O 小田原] 主日前晩祷**(17:00)	**7/2 五旬祭後第四主日** **第3調** **使徒経:ロマ6:18-23** **福音経:マト8:5-13**
2	日	**[O小田原]✝主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)・執事会** **[Y 横浜] 主日聖体礼儀代式(10:00)**	
3	月		
4	火	[東京]	
5	水	[東京]	**7/9 五旬祭後第五主日** **第4調** **使徒経:ロマ10:1-10** **福音経:マト8:28-9:1**
6	木	[東京]	
7	金	[東京] 前駆授洗イオアン誕生祭	
8	土	[全国公会]	
9	日	[全国公会(イオアン山田亨執事長/ヴァルナバ野田幹太兄誦経者祝福)]	
10	月	[小田原:会計監査準備]	
11	火		**7/16 五旬祭後第六主日** **第5調** **使徒経:ロマ12:6-14** **福音経:マト9:1-8**
12	水	[東京] 聖使徒ペトル・パウェル祭	
13	木	[東京]	
14	金	[小田原]	
15	土	**[O 小田原]** 午前:私祈祷(10:30) **主日晩課(17:00)**	
16	日	**[O小田原]✝主日聖体礼儀・(10:00)・信徒総会** **[Y 横浜] 主日聖体礼儀代式(10:00)**	
17	月		
18	火	海の日	**7/23 五旬祭後第七主日** **第6調** **使徒経:ロマ15:1-7** **福音経:マト9:27-35**
19	水	[東京]	
20	木	[東京]	
21	金	[横浜]	
22	土	**[Y 横浜] 主日前晩祷**(17:00)	
23	日	**[O小田原]主日聖体礼儀代式(10:00) 駐車場清掃** **[Y 横浜] ✝主日聖体礼儀(10:00)・信徒総会・執事会**	
24	月		
25	火	[東京]	**7/30 五旬祭後第八主日** **第7調** **使徒経:コリ前1:10-18** **福音経:マト14:14-22**
26	水	[東京]	
27	木	[東京]	
28	金	[小田原]	
29	土	**[Y 横浜] 主日前晩祷**(17:00)	
30	日	**[Y 横浜] ✝主日聖体礼儀(10:00)・月例パニヒダ・執事会**	
31	月		

＊[ ]内は司祭または教区の活動。 **✝ means where Divine Liturgy is held. K O S Y are initials of each parishes.**＊

＊聖体礼儀に参祷し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう＊

＊ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。

７月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
３１日	長司祭イヤコフ	山口　精一	１９５３年	山口　晃
２日	マリヤ	重田　スエ	１９７２年	重田　博
３日	イオフ	岩本　仙治	１９９３年	岡野　康子
６日	ソフィヤ	神谷　ハマ	１９９８年	神谷　幸夫
６日	イヤコフ	村松　彌幸		村松　伸子
７日	イリナ	神谷　和子	１９３９年	神谷　忠且
９日	イリヤ	加藤　憲一	１９９０年	加藤　宏
９日	コンスタンチン	安達　東吾	１９７２年	安達　紀彦
９日	イオシフ	石川　芳雄	１９１３年	石田　浩一
１２日	シメオン	日比野 長吉	１９０９年	日比野　勇
１３日	ニーナ	世古　恵子	２０１４年	神谷　幸夫
１４日	ソフィヤ	日比野 ハル	２００１年	日比野　勇
１５日	ウラジーミル	神谷　弦輝	２０２１年	神谷　淳一
１６日	アガフィヤ	高橋 ならし	１９５１年	松川　ゑみ
１７日	ニフォント	廣石 與志雄	２００８年	廣石　清子
２０日	ウエラ	假野　うら	１９１３年	假野 聡
２１日	リンマ	長澤　むら	１９４３年	
２１日	サヴィン	日比野 一郎	１９８８年	日比野 正男
２３日	ワシリイ	阿久津　潔	２００９年	阿久津 八重子
２５日	アキラ	加藤　　章	２００３年	
２６日	ワッサ	日比野 ワサ	１９０８年	日比野 正男
２７日	ユリヤ	山本　聖子	１９９０年	山本　保
２７日	ソフィヤ	重田　タマ	１９２６年	重田　博
３０日	アナスタシア	百瀬 美智子	２００８年	百瀬　久
	ザハリア	横田　道也	２０１３年	横田　祥子
３１日	フェオドラ	秋山　ふみ	１９９０年	山口　晃
３１日	ミヘイ	神谷 徳次郎	１８９６年	神谷　忠且
		日比野　健一	２０１７年	日比野 俊二

今月は第１　週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの霊(たましい)が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。
（月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。）

～フォトレポート～

聖神降臨祭（小田原教会堂祭）・衆聖人の主日代式（修善寺）

↑堂祭である聖神降臨祭の主日の様子（小田原）

↓梅雨の只中、信徒でまもった衆聖人の主日（修善寺）

ご注文は

教会または教文館まで

初回注文キャンペーン！

8 月 31 日までに教会から

ご注文の方は500円割引中！

定価 5,500 円（税込）

教文館

TEL.03-3561-5549

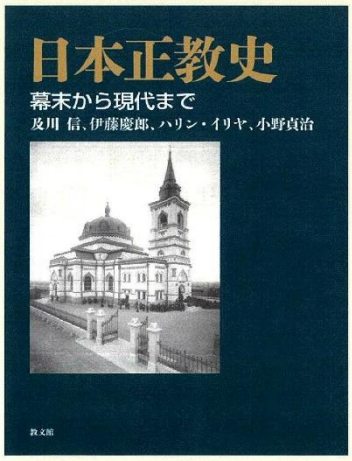
FAX.03-5250-5107

日本正教史

幕末から現代まで

及川 信［監修］

及川 信、伊藤慶郎、ハリン・イリヤ、小野貞治



1861年に宣教師ニコライが函館に渡来して始まった日本正教会。20世紀の幾多の苦難をも乗り越え、正教会の正統な教理と伝統を守り、伝えてきた160年あまりの歴史を、最新の一次資料をもとに描いた画期的労作。

【目次】

第一部　大主教ニコライとその時代（及川 信）
第二部　府主教セルギイとその時代（伊藤慶郎）
第三部　アメリカ人主教の時代（ハリン・イリヤ）
第四部　聖自治日本正教会の誕生と活動
（小野貞治、伊藤慶郎）

2023年7月5日発売

A5判・450頁・定価5,500円（本体5,000円＋税）

ISBN978-4-7642-774-7